

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
EX-URL info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2013. 11. 10
No.1081

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

あいち自治体にはたらく
非正規職員のつとめ

～あなたのつばゆきを要求に～

とき 12月7日(土)13:30～
ところ 労働会館本館



週末にぎわう栄の繁華街ですべての労働者の賃上げを訴え

11月1日、「悪政阻止、公務・公共サービス拡充、国民諸要求実現」をスローガンに、「全県労働者決起集会」が名古屋市中区の栄広場で行われました。愛労連・愛知公務共闘・自治労連の3団体主催のもと、全県から400人が集まり「くらし守れ」の声を上げました。

公務労働者の賃金改善と すべての労働者の賃上げを

11・1 全県労働者決起集会

はじめに、主催者を代表して樽松・愛労連議長が公務員賃金引き下げの不当性を訴え、「すべての働くものの賃上げへ、この秋から来年の春に向けてがんばろう」とあいさつ。闘争報告と行動提起を林・自治労連愛知県本部書記長が行い、「秋季年末闘争は、職場から悪政の推進を許さない」という怒りを結集させ、国民的な共同を大い

に広げていこう」と呼びかけました。
決意表明では空(そら)・愛知国公議長が「国家公務員の給料が不当に引き下げられて一年半。もう限界だ。54歳の私がいくら超動しても手取りが30万を超えることが無い」と訴え、「官民どちらかの給料が下げられた中で全体として労働者の給料が上がらぬわけが無い。私たちの給料を元に戻させ、すべての労働者の賃上げを勝ち

とろう」と力強く呼びかけ、大きな拍手が起こりました。最後に会場から矢張りまでデモ行進し、週末賑わう繁華街へ大きくアピールしました。

参加者の声 地域経済・仕事を くらしを守ろう

名古屋市長・原田孝幸さん
消費税増税は、私たちの生活すべてにかかわってくる大問題です。食料や服なども、絶対に必要なものを以外買えなくなるとし



多数の組合員とともに当局に迫る長坂委員長(豊橋)

再任用「希望者全員」の雇用確認 55歳職員の昇給停止は認めない

豊橋市職労

豊橋市職労は11月1日に団体交渉を行いました。交渉では、7・8%賃金引き下げについて、「自主自立の立場より実施しない」。現業の委託化について、「何でも、安い」が一番ではなく、委託ありきではない、など前進的な回答を引き出しました。
また高齢期雇用では再任用制度について、「希望者全員の雇用確保」、「生活の成り立つ賃金水準に改善」することを求めました。これに対して当局は、「希望者全員のポストは確

保できており、正規の定数減とならないようにする」と回答しました。
一方で、昨年の人事院勧告に盛り込まれ、来年1月から国家公務員に適用される55歳以上職員の昇給停止について、豊橋市でも来年4月より実施したいと提案がありました。市職労は、「給与が十数年間下げられ続けている中で、そのような不当な引き下げは認められない」とし、今後の交渉で再検討を迫る姿勢です。



愛知県の市町村課と交渉する県本部

賃下げ問題は「市町村の自主的判断」

県本部が愛知縣市町村課と交渉

まう。給料が上がらない中で、増税なんてなおさら許せません。
豊川市職労・山口晴彦書記長
非正規職員も同じ職場で働くパートナー。「同一労働・同一賃金」を掲げ、時給引き上げなどについて対話をすすめ、均等待遇実現という目標に向かってともに前進したいと考えています。

自治労連愛知県本部は13秋季年末賃金改善要請書をもとに、愛知縣市町村課と10月25日に交渉を行いました。
はじめに伊藤県本部委員長より「再任用問題や給与制度の総合的見直しなどを求め、重要な問題について意見交換したい」とあいさつしました。

高年齢雇用では、「選考があり、希望者すべてを採用するわけではない」とし、「フルタイムが困難であれば短時間もあり得る。年代構成を考えた新規採用も必要。賃金制度について2・4級の格付けでは、級に応じた仕事があれば問題ない」としました。

臨時・パート職員の待遇改善では22円アップした最賃をふまえて改善を求めました。これに対して市町村課は「実態調査はしていないが任用根拠に基づき適切な運営をお願いしている」と回答。その他にも、現業の新規採用・民間委託反対、慢性的な時間外労働の実態調査と職員の増員を求めるといった交渉となりました。
最後に県本部より「住民の福祉と住民自治の向上のために引き続き情報交換、協議していきたい」と伝え、交渉を終えました。

子どもは大人の「笑顔」が大好き

子どもたちによい保育を！1・4大集会

11月4日、東京・日比谷野外音楽堂で、「子どもたちによい保育を！1・4大集会」が行われ、全国の保育者3500人が結集。自治労連愛知県本部も51人が参加しました。

みんなの力で保育を守ろう！



日比谷野外音楽堂に集まり、安心・安全の保育へ大きく声を上げる3500人の保育者

野外音楽堂で、「子どもたちによい保育を！1・4大集会」が行われ、全国の保育者3500人が結集。自治労連愛知県本部も51人が参加しました。

の橋口紀塩副委員長が、「子どもたちの未来を守り、誰もが安心して子どもを産み育てられる社会をめざそう」とあいさつ。基調報告では、保育をとりまく情勢とともに、市町村の保育実施義務を強化させ

る、格差是正を求める、などの新制度の問題点と改善課題が提起されました。リレートークでは、保育士の立場から「子どもたちは大人の笑顔が大好き。なぜならそれを見ることが安心できるからです。その笑顔が今、奪われようとしている。絶対に阻止しよう」などをはじめ、全国の保育者の活動とその思いが語られました。



保育拡充を訴えるあいちの仲間

安心の介護・医療の充実求める

秋の愛知自治体キャラバン

愛知自治体キャラバンが10月22日～25日にかけて行われました。秋のキャラバンは、愛知社保協や自治労連などでつくる実行委員会が「介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書」をもとに毎年行っています。24日の豊山町・小牧市・大口町のコースには、20人以上が参加。安心の介護保障や保険料の減免などについて意見を交わしました。

豊山町では、参加者から、「介護保険から要支援者を外す「介護予防・日常生活支援総合事業」によってサービス低下につながること危惧している」と発言。これに対して町は、「まだ今後の方向性は決まっていないが、利用者にとって一番良い形にしたい」と回答しました。小牧市では参加者から、「お年寄りが安心しておしゃべりできる街角サロンにたいして助成を」と求めたのに対して市は、「社会福祉協議会のボランティアセンターを通して支援と助成をしており、現在は市内に24カ所のサロンがある」と答えました。大口町では参加者より、「検診で、5000円の自己負担額が発生しているが、無料で利用しやすい方が病気を予防でき、安上がりでは」と発言。町は「なんでも無料で受診率アップとは考えていないが、住民のための検診にしたい」と回答しました。

ニュース笑アツ



セット共済 安くても安心
自治労連 掛金 1820円/月 → 病入入院 5000円/日

秋の愛知自治体キャラバン

健康な職場づくりが大切

県本部安全衛生研修会

10月30日に労働会館で行われ、13単組110人超が参加。労働安全衛生法の基礎知識を学びました。また、メンタルヘルス対策について「健康な職場づくりが大切」と予防や再発の防止について具体的な対応を学びました。

社会保障の充実めざす

福祉予算削るな！愛知県民集会

10月27日に若宮広場で行われ、800人が参加。岩倉市職・保育支部より公的保育の充実をめざす署名行動が紹介されるなど、社会保障充実に向けたとりくみが報告されました。ハロウィンの仮装をしたデモ行進も行いました。

基礎から機関紙づくりを学ぶ

第18回あいち機関紙・宣伝学校

10月25日、26日に労働会館を中心に行われ、のべ65人が参加。簡単な機関紙づくりからプロに学ぶ力メラの撮り方など、幅広い層が学びました。ツイッターなどのネットツールを学ぶ「SNS活用コース」も好評でした。

みんなでつくる組合学校

とき:11月30日(土)10:00～17:00
ところ:カネジュービル5階第五会議室

第1講義 「労働組合の意義と役割」
講師:吉田豊・愛知学習協会長

第2講義 「職場に見える労働組合活動のすすめ方」
講師:中村恵美子・浜松医療センター労組執行委員長
講師:原卓郎・名古屋市職労総務財政支部書記長

※詳細についてのお問い合わせは県本部までお願いします